

認定こども園化が計画されている  
能登川第1幼稚園



東近江市は、能登川第1幼稚園の既存園舎を改修するとともに低年齢児の園舎を増築して認定こども園化を図る「(仮称)能登川第1幼稚園整備工事」を計

東近江市 能登川第1幼稚園の認定こども園化

低年齢児園舎も増築

30年度着工 31年4月開園目指す

画、係る設計監理業務を7月20日に執行した指名競争入札で落札した大村建築設計事務所(長浜市)に委託した。

今年度内に設計をまとめ、30年度の単年度で工事を行ない、31年4月の開園を目指す。

は、同市佐野町379の敷地約8000平方メートル、RC一部S造2階建、延べ66平方メートルの園舎が建つ。昭和52年に耐震改修工事を行なっているものの老朽化している。

このため、大規模改修工事を実施するとともに、低年齢児(0〜2歳児)の園舎を増築して認定こども園化する。増築園舎の敷地内における位置や規模等は、今後検討し設計段階で詰めている。現在の能登川第1幼稚園の定員は230名。増築園舎の定員は、現時点では50名程度を想定している。

なお、東近江市能登川地区の幼児施設の現状は、公立幼稚園が▼能登川第1幼稚園と▼能登川第2幼稚園(2女浜町176)の2園、公立保育園が▼能登川ひばり保育園(猪子町203、定員120人)の1園、公立認定こども園が▼ちどり幼児園(幼保連携型伊庭町29333-3、幼稚園55人、保育園75人)の1園。

民間の施設は、認定こども園が▼その鳥こども園(幼保連携型、種町2120、幼稚園30人、保育園110人)の1園、保育園が▼八宮保育園(小川町3210、定員120人)の1園ある。

能登川地区では、近年、施設整備を進めているが想定以上に入園希望者が増加している。このため、まずは能登川幼稚園の認定こども園化で待機児童の解消を進め、その後、老朽化のうえ敷地が狭隘で交通の利便性も良くない能登川ひばり保育園について、別の敷地で、民間による整備・運営に移行する方向で検討を急ぐ考えを明らかにしている。